1689

道成寺岐柳

五之巻

目録

第一 足利の作の宝刀が祇園源きたくこと
乞丐が古亜とかたのうわ浦宮の縁書
四方の郎の五人の女房の白状の文言
文金の市郎の後妻ひいさめの侍

第二　かりけ詞の流れ濁りなく国家の政道
繁昌の基とそこ切とちを稽古の業を怠らず
古学の学問の中に於ては和歌の文雅
よりもやはり世安石丸殿の出世より門出
第三　多代小八郎代々さて也石丸君のもとへ郎
後室妙玉殿と忠義の侍今ぞ歌と政道懇
願人退治うち絶つて道成寺の異縁起
仏法ちんぐわう豊臣太閤代長久人

一　兵部卿殿宗石堂が秘伝へふうとたくこ
村詠ゑ二幅の書に題してびとくりの流すて伝者の秘歌と
ぢうゆ。なんべ万義よてくるづさるにやこのこ能すと安すもどもと。
世よりく悩む注度深心一ゑ接ゑ者。和歌して。京都みて因と物ゑ
よう。たゆまさにありとくよとていまと縁とりとんくゑ居林流大伝秘へ
きゑくのさくげ把かり必えの秘蔵れ伝石堂門西院へ美金すくゑ前尾
をてくうふその内小必え後蔵れ蔵にゑて出仕と中めれ牛あれど
政警石をひとりに必して内しくの義法伝ゑ一ゑ。努引多乳乃
国自和富度の源月乃浄瑠璃ゑ。ゑ。ゑ。

そうじけりそれへ一方あへ小留屋のそうれがくさ。石九郎こ重郎の長男
ゆしあ〜くがを松坂と徐分ゆあ〜く一方揚くを忠ひつそへ一方あへ
小留屋の坂宝安浜の方。日吉ら〜うるひ。あ〜ゆ〜ゆ〜ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

その一面にその方がた人の名を彫りたる西せきでありたるこぶん理解
ひのあるしがらとはらくわくてもぜんぶの初へんとうにさーつまりに
石を所もたくさんはけいぜてぜんぶ西りとんぞれくのうめ体まりと深
ずいきんまりうえて後宮の収びいほ弟が大石ぐい。友すれば石ぐ
引ん。石丸方と後世やこの方れくとわくーもあくーんくろご揚ーあ
皮をまがるえいでございけれども。その場よりあくを安さるめ西おと
うつつ見ていでぜ石をいやさ拾えいをざりるれども。ドすむのとり
えをーと。後日のさくさもいでーそのきくーハ行のめとんべ寄れとも
和紙の女房せずーくむすあ石書給といくせもそてび深西めりく
とりーいその方繕とんそのあがさまーのをうどひーー花女書婦揚太
の絵様がーとりまをーうなてぜーあくを一目ーでをーの石をいらって
ヤアナいさんなり卵をたまと思ってで。祝植砌の二人のびや深がやれの

むつごとと書婦にとあくりさとそんば深西がつみ植をたり丸山もの
方衣がるいくりぜまをとある植ようをドらんと一途ゑ体ゑとこあるるむの氏
ーーれくるめなんぜーあ日ゑ的え冷えの毒れきのどくゑ方
石丸方のいつくりめたそのえをとうどくゑ西をーゑ深へをて体色
あるべー。氷がようーくドーーまーーー

手代あまたにて[illegible]ありこれ後に[illegible]
たふまつさぐへと煙ふるまつ[illegible]
を面目あげふうつむこと[illegible]
吹使いくに[illegible]
さしあぐれば汗ありやうく[illegible]
あ〜ふかくせごと。[illegible]
所をこれより[illegible]
姫と桜と忠と中[illegible]
たうとも。[illegible]
故えびすあるいは我も知つ[illegible]
のこと〜皆で[illegible]
作も切りこと石九ぞ[illegible]

先なりこと[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぶんぶる人義見人の死をはめ四角が四役人の中紀しへ任せこの所
仙ようてさ西づりはいぐさぐつらぐそくあれぐそのほかと絵分ようこへようせての
役目懐中いさぐばんろれもきこへろが光月世ろのあへ見るの面要
みくてぐ切をこうらへさ世ろへくそれるなナ和をそうめ十八人その中にも
久米ゆこあへろつ安産の産めれつこうと係のこうら。村田八幡へ祈願
四人ひまぐへとそぐ切すぐて弟こてあらうがるハテくくしくちろし
りこうこ地ぐつさうとく同けそのまへうろ京中と賣ふろ和歌乃
市ゆくとつふ女ようこ地こぷ細工ふと波藤みのくにぐさひ猪ようへいりくく
その日の昼ゆへ和ぐ方好んくゥそれよくはこうこびにへぎ組二度月ろ
来ることみて流籠ぷゆへんうるこ今形の面桂ぷひあるまひぐなく
出ろぐ地ぐ人のあろ助ようむひいこうへくてんとう色ぷ二月十四日ようて
市ゆ人役へ降桂ように今みこ文ゆすぐうふくゆ石にうくれナ八日のあけこと

始めこけへ表裏ようこ流人にて殺ようくれ一四位ようナ和ようと色
石ようを四色へ今みをようたのむ逃物利にくべみくこうよ年ろ
一石あつくようこ上べこようのこれようのぐるれようてつくんぷその一れ乃
ろうくとなくくろ面へろにゆへ盗賊大勢ようて今ろみを
とくぐぶたのろうくぐろとろうるゆぷそのあろうくくきくこ五ろ。
地ぐ人へあろうと同ぼろくれ命のたまくゆをひまくゆ出くナ鼻
ようくれてぐろうぷれのゆぐ人ようふをだろれこえ一色とろ出て。
ひろうくしのふへそのろぐ色てあらくぐ年くへうくゆくてぷゆくのも弟ぐくぐ。
あくれて徒もなろうろ。盗賊勢とあづかろ出ぬえぷ色のさろ殺ときて。
地ぐくしてなろぐさろぷみてくくせくくく

のぢさんなどあの四ようでとなりて[illegible]
[illegible]あるこれも[illegible]てぞ[illegible]
なりてあやまりたるぬえうとまづふよ[illegible]
[illegible]の[illegible]稲荷[illegible]
とてぞのあづかる[illegible]の[illegible]
いめくの[illegible]
づ石[illegible]
くちんどうちうれ[illegible]
すくうけーとぞのあづかてとりんく[illegible]
[illegible]
なぐわいまてーてとあるやりく[illegible]
やどうくもげみてくりうりぞ[illegible]

寅三月十六日より汁めをこれ出し。[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

(三) 六代は八十代おさゞ石丸君の御入部

[illegible]

[illegible]

そんぜどこいろを敷と。又ひのごとくくさばせあくくさせんとする
ものいとのかぐらう法華と行ぜひ玉ゝへ返るさせんをトの種紙
とる。ぬくんいつろうふとの河めれ。きをゝくこうげつぐかのうり
なくとうなはあくをゝ法花の面くゝれいふりえのロろかとも云ゝ
ひくる極悪人を法花なされ玉とわとまんとする玉ゝとたけらる法
法くくのうめしいくどつぐ。そのめぐんなまれ弟にめされまと。石をを四ゲ
縄とたに花科の役人へうゝ。ゆゝこのおいろへつよれども。ゝん沒落と
ちうさどしいかとの面後ゝ。ゆゝ。ゝ。あくくゆはせん縄をといて弁安
寧へゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

両面上下無染　五冊
風流定訓往来　五冊
新信琵軍記　五冊
藤家鬼軍談　五冊
老子形氣　五冊
筆道指南大成　一冊
蘇附古今夷
芸法奥伝抄　二冊
藤治大全　五冊
婦人療治秘伝相蓮　一冊

抑人九誕生記　五冊
御前記我經記　八冊
古今實物語　四冊
織田記　拾冊
神国芦分艸　三冊
書生主論　一冊
万世秘事　拾
世宝傳受伝袋　三冊
弥術さんげ袋　二冊
後さんげ袋　二冊
新砂石集　五冊

扇の的　五冊
日蓮記　五冊
日たすけ　五冊
古今初音大鑑　五冊